

今、なぜ抗菌薬適正使用支援が必要なのか

— 抗菌薬選択の考え方と介入戦略を踏まえた実践的アプローチ —

要旨

抗菌薬の不適切な使用は、薬剤耐性菌の出現や感染症治療の困難化を招き、医療安全に深刻な影響を与えます。薬剤師は、抗菌薬適正使用（Antimicrobial Stewardship：AS）を推進する重要な担い手として、医師や他職種と連携しながら、安全かつ有効な感染症治療を支援する役割を担っています。本講演では、まず抗菌薬適正使用支援の必要性について解説します。その上で、薬剤師が現場で実践できる抗菌薬選択の基本的な考え方や、介入のタイミング・方法といった戦略的アプローチについてご紹介します。

プログラム

3 講演合計 90 分間

	講師	演題
1	忽那 賢志 先生 (大阪大学感染症総合教育研究拠点)	なぜ抗菌薬適正使用支援が必要か
2	日馬 由貴 先生 (大阪大学感染症総合教育研究拠点)	抗菌薬適正使用支援の介入戦略
3	忽那 賢志 先生 (大阪大学感染症総合教育研究拠点)	抗微生物薬選択の考え方